

検査項目についての説明を記載しています。参考基準値とは健康な動物の95%が含まれる下限値と上限値の範囲であり、この値から外れても必ずしも異常を示すものではありません。詳しい結果の解釈については獣医師の先生の説明をお聞きください。
*説明は一般的な内容となっています。参考基準値は測定方法などにより検査センターによって異なる場合があります。

検査項目	検査結果	単位	判定	各検査項目ごとの基準値を示しています。 (参考基準値(犬))
赤血球数(RBC)	9.86	M/ μ L	高	5.5~8.5
ヘモグロビン濃度(Hgb)	16.1	g/dL		12.0~18.0
ヘマトクリット(HCT)	60.4	%	高	37.0~55.0

各検査項目の詳細は下の表をご参照ください。

基準値を外れている場合でも必ず異常とは限りませんので先生の説明を良くお聞きください。

検査結果が「高」は基準値より高値であったこと、「低」は低値であったことを示します。

血球計算検査で一般的な項目と意義

検査項目名	検査の意味	考えられる状態
赤血球数 (RBC)	貧血、赤血球増加症などを示す指標	高値： 脱水、心（肺）疾患、赤血球増加症 低値： 様々な原因による貧血
ヘモグロビン濃度 (Hb)		
ヘマトクリット (HCT)		
平均赤血球容積 (MCV)		
平均赤血球ヘモグロビン量 (MCH)		
平均赤血球ヘモグロビン濃度 (MCHC)		
総白血球数 (WBC)	炎症性疾患などを示す指標	高値： 運動、ストレス、慢性炎症、グルココルチコイドの投与など 低値： ウイルス感染、激しい細菌感染、飢餓など
好中球数 (Neu)		
リンパ球数 (Lym)		
単球数 (Mon)		
好酸球数 (Eos)		
好塩基球数 (Bas)		
血小板概数 (Plat)		
網状赤血球数 (RETIC)	赤血球産生を示す指標	高値： 再生性貧血など

定期的に健康診断を受診しましょう!

動物病院で定期的な健康チェックを受けて、病気の早期発見につとめましょう。

次回の検査予定 年 月 上旬・中旬・下旬頃